

■道路メンテナンス技術集団による直轄診断

地方公共団体への支援策の一つとして、緊急かつ高度な技術力を要する可能性が高い橋梁について直轄診断を実施しております。平成27年度に「呼子大橋」（佐賀県唐津市）において、九州初となる直轄診断を実施しました。

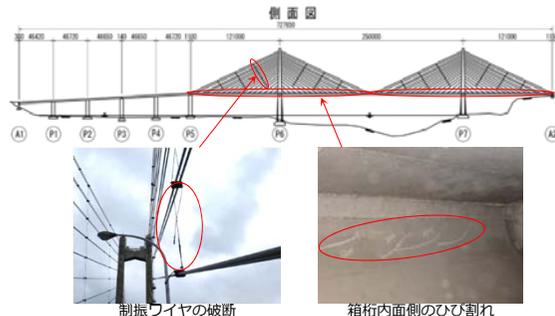
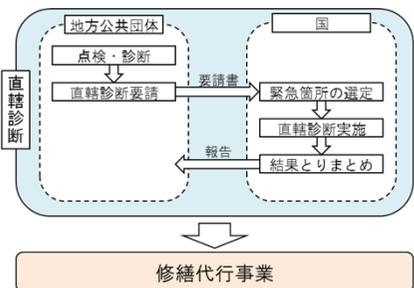
呼子大橋



道路メンテナンス技術集団による
現地調査



唐津市副市長等への
調査状況報告



■『呼子大橋修繕対策検討会』の設置

平成27年度に実施した直轄診断の結果を踏まえ、損傷原因の究明と効率的かつ効果的な修繕対策を策定するために、『呼子大橋修繕対策検討会』を設置（H28.9.14）。

検討会の目的

- ①本橋梁の損傷原因の究明
ケーブル振動現象とひびわれの発生原因
- ②効率的かつ効果的な修繕対策の策定
ケーブル振動対策の見直しや強化、効果的な対策の検討

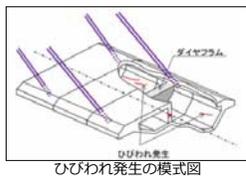


代表的なひびわれ



ケーブル振動

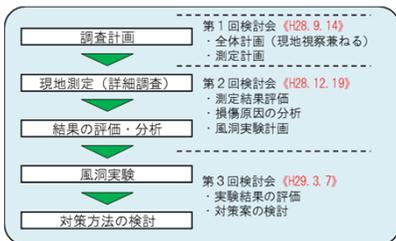
関連性
不明確



ひびわれ発生
の模式図



第1回検討会 会議状況



検討会の結果

ケーブル振動抑制の対策等について議論を行い、修繕対策の基本方針をとりまとめた

道路メンテナンス総力戦

～ 本格的なメンテナンスサイクルを始動 ～



迫り来るインフラ老朽化の波



橋梁点検

総力で
点検中



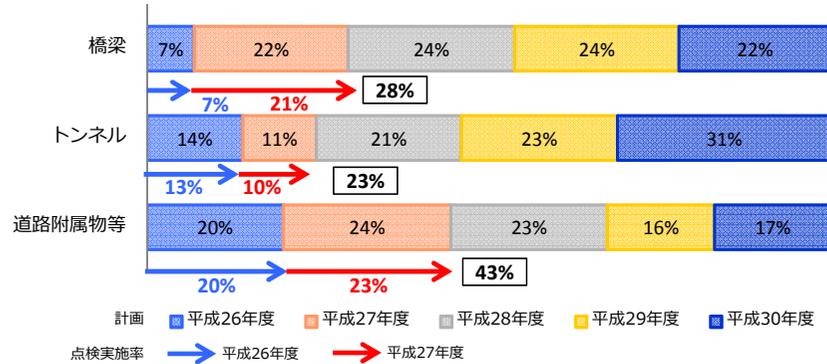
道路メンテナンス総力戦

～ 道路メンテナンス年報 ～

九州における点検実施状況

全ての道路管理者は、橋梁、トンネル、道路附属物等（シェッド・大型カルバート、横断歩道橋、門型標識等）の道路施設について、5年に1度、近接目視にて点検を実施していきます。

< 5年間の点検計画と平成26～27年度の実施状況 >



< 各構造物の点検実施状況 >

道路施設	管理施設数 (A)	H26・H27計画点検数 (B)	H26・H27点検実施数 (C)	H26・H27点検実施率 (D=C/A)	H28点検予定数
橋梁	105,235	30,904	29,787	28%	26,707
トンネル	1,721	423	402	23%	383
道路附属物等	3,052	1,323	1,314	43%	690

< 各構造物の点検実施状況 >

橋梁、トンネル等の健全性の点検結果は、以下の4段階に区分します。

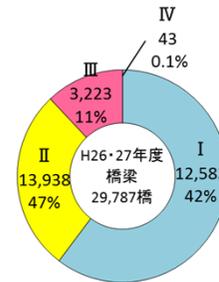
区分	状態
I	健全 構造物の機能に支障が生じていない状態。
II	予防保全段階 構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
III	早期措置段階 構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
IV	緊急措置段階 構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。

九州における点検結果（平成26～27年度）

建設経過年数が長くなるほど、早期に修繕などの措置が必要な施設の割合が多くなっています。緊急措置段階である判定区分IVについては、速やかに緊急対策を講じたところです。

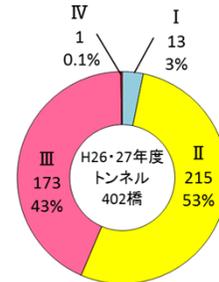
< 橋梁 >

● 判定区分



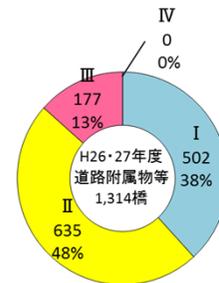
< トンネル >

● 判定区分

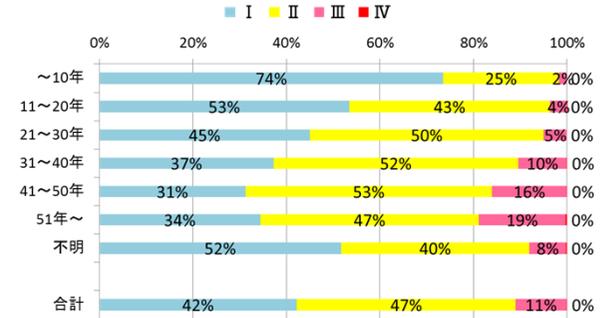


< 道路附属物等 >

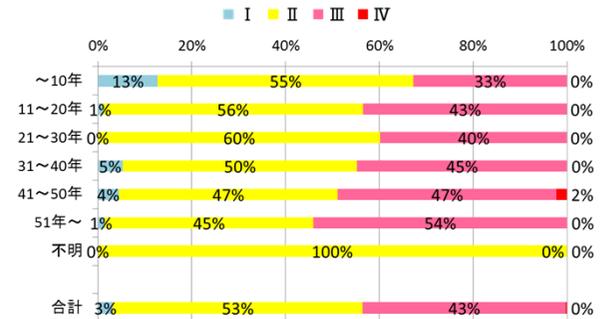
● 判定区分



● 判定区分と建設年次



● 判定区分と建設年次



● 判定区分と建設年次

